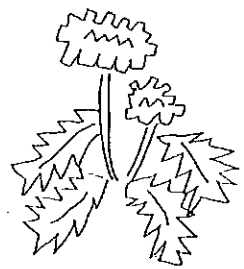




NO94  
 H7年4月1日  
 -発行-  
 〒869-12  
 熊本県菊池郡  
 大津町森54-2  
 社会福祉法人  
 三気の会  
 三気の里  
 ☎096-293-8100



恩師

理事長 田中 稔

昭和36年、ひよんなことから熊本大学医学部に入ることになりました。初めは、まわりに良家の子息が多く違和感がありました。

その頃の医学部生は、今と比べて覚えなくてはならない医学的知識の絶対量が少なかったので、授業や試験に追われることもありませんでした。ゆったりとした、遊びも含めて自分の好きなことがやれる時代でした。弓道や僻地診療や無銭旅行にあけくれて、なんとか卒業できる程度の勉強しかしませんでした。

又、大学紛争華やかなりし時代で、封建的な医学部の体質を我々学生が変えなくてはならないと、若いエネルギーを普通の学生が持っているようなそんな時代でした。42年に卒業して、最後のインターン制度の研修生を終えた後、熊

本大学第二内科(河北内科)に入局しました。これが河北教授との出会いでした。なぜ内科を選んだかは先輩にやる気のある人が多いと思ったからです。現在、熊本県内の多くの基幹病院の内科医長が同じ医局の出身者です。

河北内科は血液学を最も得意としていました。その頃の血液学は形態学が中心でしたが、私はようやく認められつつあった生化学的研究をやらしてほしいという条件を入局に当たって認めてもらいました。

こうした若造のわがままも河北教授はニコニコ笑いながら手の平の上で遊ばせるように自由にさせておられました。生化学をしていたのは宮家講師に率いられた第5研究室です。

ここではその当時、二つのメイソンとなる研究、現在世界的な成果と言われている腎性貧血の治療薬

エリスロポエチンと、世界に数千家系と云われる先天性メトヘモグロビン血症の研究をしていました。私は後者の酵素分析をしていました。仕事が一段落したのを機に29歳で大学を離れ、その後、35歳で開業しました。この時、教授から頂いた記念の時計が今、私の机の上にあります。

私が障害児をもった事も気にしておられました。施設を作ることになり、理事に就任頂く事をお願いに行った時も、快く引き受けて頂きました。その先生が、先日夭寿を全うされ、逝ってしまわれました。ご冥福をお祈り致します。



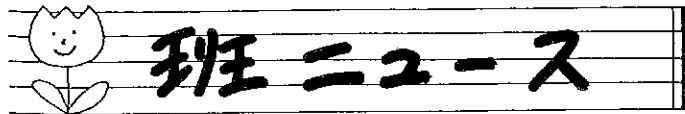
げん気 - こん気 - のん気

▽春風、昨夜から雨を伴った風が吹き荒れている。まさに、春を呼ぶ風と言ったところだろうか、巷では、円高の風に、毒ガスの風と、とても物騒な風が駆け巡っているようだ。早く、春がやって来て欲しいものだ。

▽三気の里の春は、部屋替えから始まる。皆引越した！職員も大混乱、慣れるまでの辛抱だ。▽新年度は、体制変革の風も吹いている。3班から5班に増え、より細かな指導を目指し変更された。旧1・3班のそれぞれが、作業グループ毎で分離独立することになった。

▽各班の名前は、数字では味気無いと、日頃慣れ親しんだ、パッキンやネット、木工、農耕、園芸といった名前が使われるようだ。

▽最近、三気の里周辺では、ドーム球場が建つといった噂が流れているようだ。噂の元は、初夏に完成を目指して建設が進む、交流ホールの体育館部分のドーム型鉄骨部分である。地域交流の拠点として、今年の夏は大活躍してくれるはずである。皆さん是非おいで下さい。



# 班 ニュース

## 1 班 - ネットグループの誕生

4月から、現在の1班が二つに分かれます。

ネットとパッキンの二種類の軽作業グループがそれぞれ班として独立します。ネットグループは新しい2班となり、メンバーは、現在の聡ちゃん、博君、マーちゃん、たっちゃん、民さん、さゆりちゃん、山布子ちゃんの前メンバーと、淳君、幸恵ちゃん、正樹君、ヨッちゃん、泰彰君の新人メンバー。これにアッコちゃん、忠ちゃん、宣陽さん、文ちゃんが新たに加わり総勢16名でスタートします。ネットで頑張ってきた憲ちゃんとかっちゃんが新1班（パッキン）へ移動となります。作業は変わっても今迄のように頑張ってくれると思います。新2班では他に毎日午前中の作業として、洗濯物の仕分けを行います。幸恵ちゃん、山布子ちゃん、宣陽さんの3人が80人分の洗濯物を仕分けてくれます。新しくスタートするネット班、はてさてどんな色に染まって行くのかとも楽しみです。 川邊

## 1 班 - パッキン諸島 - バリ島 春の嵐と出発

現1班になってどれほどの月日が流れたのだろうか、幾つかの作業グループが集合し、相互で助け合ってきた。決して単独では成り立たなかったであろう。

この春の嵐が過ぎ去った頃、穏やかな日差しと共に、しっかり大地に根を下ろしたグループが出来そうだ。

昨年、プラスチック部分のセット作業を中心に据えた、パッキングループでスタートしたが、夏を待たずに不況の嵐がやって来た。私達にも、不況は人ごとではなかった。3～4ヶ月は、掃除に明け暮れる毎日だった。冬を迎え、企業の努力で作業が安定して受注されるようになった。

嵐の間耐えた私達は、体力・精神力ともに、一回り大きくなったように思う。これからも、先行きは不透明であるが、粘り強く頑張ろうと思っている。

新年度の体制も決定し、パッキンチームは新1班として独立する。総勢12名（人前者9名＋職員3名）の少数精鋭で頑張ります。

追伸：パッキンチームから築立つ文ちゃん、上田さん、光山君、吉田さん、頑張っね。新たに参加するかっちゃん、のりちゃん、坂本さんよろしく。 坂井

## 2 班 - 1995年度も木工班は頑張ります！

2月号で紹介した木工班の作業棟改造もほぼ完了し、木工班のみんなにとって、すっかり“セカンドハウス”として定着してきています。居心地よいスペース構成を工夫したため、みんなも作業棟を気に入っているようで、作業時間外でも各々の席に着くと自ら作業に取り組み、ニコニコしている人がどんどん増えてきています。

小物の作品製作も、試行錯誤を繰り返しながらも少しずつ軌道に乗り始め、今は戸島方面のかわいい雑貨屋さん“M&M”に卸しも始めています。早速、第一号が売れたとの情報に思わず、ニンマリしています。…が、これで満足する木工班ではありません。来年度からは、ステンシルやパッチワークと木工品を組み合わせ、作品のバリエーションをもっと増やそうと計画しています。それに伴い、作業面の工夫も又、考えていかねばなりません。他にもいろいろと…。(あとは企業秘密です。)来年度も忙しくなりそうです。

追伸：3月レクでは、人吉梅園に梅の花を見に行きました。小雨のしたたる、色とりどりの梅の花々が趣のある春の風景を見せてくれました。 松下

## 3班 - 園芸

## 『○○笑う春』

“山笑う”と言われる春となり園芸班にも少しずつですが春が訪れてきました。まずは、一昨年からの準備を進めていた倉庫がほとんど出来上がり、引っ越しも始まりました。設計者がヘソ曲がりな為、下の駐車場から見ると歪んで見えるうえ（見えるだけですヨ！）4面全て壁の形が違うという笑える倉庫です。又、花壇には一冬手入れを続けて来た草花が咲き始め園内に彩りを添えつつありますし、ハウスの方にも定植を待つばかりになった花がいっぱいです。

新しいメンバーでスタートして1年、みんながそれぞれに頑張ってくれたおかげで色々な作業がほぼスケジュール通りに進行してきましたが、ガラス温室に土手造り、肥後ツバキの出荷準備と山積の作業スケジュールに笑いが引きつり気味の職員を横目に、みんなはとても元気です。新年度にはもっと大きな蕾がつきそうな予感の中、大笑い出来るように頑張りたいと考えています。 東

## 3班 - 農耕班 - 春の想ひ

春を告げるかのような心地よい風の吹く3月のある日、何げなく外を眺めていると、もうそこにはタンポポが咲いていて、わたしと同じ風を受けて気持ち良さそうに揺れていました。しばらくその風に身をまかせているタンポポの動きに見とれていると、昨年県立美術館で見た星野富弘詩画展での作品を思い出しました。星野さんは教職に就いてわずか2カ月後のクラブ活動指導中に頸髓を損傷され、首から下の自由を失われ、以後絶望の淵からはい上がり口に筆をくわえて母親の助けを得て、文字や花の絵を描いてこられ、現在は詩画集の出版や詩画展を各地で開催されています。そのこれまでの経緯を思うと、本人の努力は勿論のことながら、色の調合や彩色等一色一色本人の注文どおりにするお母さん（現在は奥さん〔星野さんが受傷後結婚〕）の努力は、私達はその詩画で得る感動の大きさに比例する程難しかったのではないのでしょうか。その苦労を顧みる時、園生の皆んなの両親・家族のそれが少しグブって見えたような気がしました。ペンペン草の絵に添えて書かれていた

神様が たった一度だけ

この腕を 動かして下さるとしたら

母の肩を たたかせてもらおう

風に揺れる

ペンペン草の実を見ていたら

そんな日が

本当にくるような気がした

この詩画を見ていると園生も言葉では表せないけど心のどこかでは、きっと同じような気持ちでいるに違いない。そんなことを思わせた、優しい一日でした。 木下



# 療育シリーズ

心のつながり

園長 土井 尚典

知的障害者と動物とのふれあいの話をしている中で、興味深い話を聞いた。ステーキのおいしさで名高い神戸牛の飼育の話である。

昔は農耕用にとこの農家でも牛を飼っていたそうであるが、今ではどこも飼っていないので牛舎が空いているそうである。そこで、神戸牛の飼育を各農家に数頭づつ委託飼育をしているそうである。委託には委託料のほかに飼料(エサ)も支給されるそうである。一般的には、委託牛は、1頭九十万円ぐらゐの競り値だそうである。

ところが、ある年からまとめて5頭八百万円の牛が出るようになってきたそうである。調べてみると、同じ農家で飼育された牛だったそうである。全く同じ飼料を与えていて、その農家だけ委託した牛5頭全部が、どうしてこのような差が出るのか、委託業者は調査をしたそうである。しかし、分からなかったそうである。強いて言えば、その農家に四十才ぐらゐの知的障害者が居て、その方が毎日、朝晩、

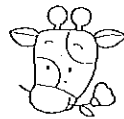
牛舎に行っては餌をやり、牛に話しかけ、ブラシをかけ本当にかわいがって育てていたということである。このことが健康で肉質のよい牛を育てることになったのでしょうと言うことである。

私は、知的障害者が育てたという事よりも、かわいがって、身辺を丁寧に世話してあげ、話しかけて育てることが、健康な牛を育てたことに興味をもった。特に、牛に話しかけて育てることに、ああ、牛でもそうなのかと思った。人間と牛をごっちゃにできないけれども、人間だったらならなおさらではないかと思った。

定員増になって、新入園生に手が掛かっているけれども、職員は本当に頑張って世話をし、処遇を行って居ると感謝している。けれども、話しかけや、コミュニケーションの面から見ると前からの不足は来ているのは事実である。なんとなく顔色がさえないなど、肌の艶がない、動きがのろいなど、本当になんとなくであるが思い当たる節がある。これが長い間毎日であればきっと差がでてくることになるだろう。

施設の機能(働き)の1つに、

「保護者に変わり、利用者を適切に保護し、家庭の雰囲気の中で情緒の安定を図ること」とある。この事は利用者との心のつながりを十分はかり、心と体の安定をはかることである。施設職員も頑張りますが、保護者の方も園生と心のつながりを保ち、心と体の安定を支えるメンバーであり続けてほしいと思います。



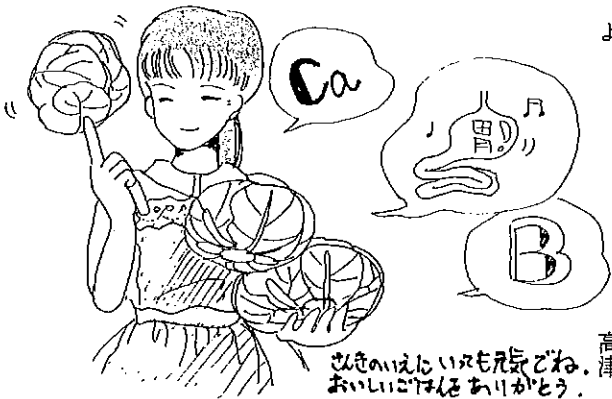
## 食民当主 岩田 崇中

入所者がどんどん増え、指導員とともに、慌ただしく活気に満ちたこの頃。厨房内は戦争です。頑張っているものの、時間に間に合わないことがしばしば。一段落つくと、今度はお代わり、片付けと大忙し。しかし、みんながきれいに残さず食べてくれていたのを見ると、うれしくてさらに頑張らねばならないと思う私達でした。最後になりましたが、三月一杯で、高津栄養士が三氣の家に移動することとなりました。今まで有り難う。これからも頑張ってくださいね。

前田

## 栄養の話

春の野菜でお勧めなのは、春キャベツ。キャベツに含まれるビタミンUは、非常に胃腸によく薬にもなっているくらいです。カルシウムやビタミンCもたくさんは入っています。また、高血圧に効くカリウム、疲労回復に効くナイアシン、ビタミンB1・B2を含みます。さらに、繊維質を非常に多く含むので胃腸の掃除もしてくれます。キャベツには、このようにたくさんさんの栄養が入っているのですよ。



観劇「奇跡の人」

坂本 信子

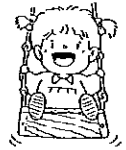
熊本県ライオンズクラブの皆様のご招待で、「すわらじ劇団」の「奇跡の人」を見る機会に恵まれました。(ライオンズクラブの皆様、ありがとうございます。)三気の里では、総勢十六人で向かい、二時間二十分という長い間でしたが、誰ひとり席を立つ事なく劇を見、また、感動を分かち合えた様子でした。特に、最後のサリバン先生が水ポンプを押し、流れ出す水をヘレン・ケラーが手に受けながら、「うおう(WATER)」と、言葉と、物とが初めて結びつくシーン。会場に感動の渦が巻き起こり、割れんばかりの拍手が鳴りました。振り返ると三気の里の皆も、目を潤ませながら夢中で手を叩いたり、静かに涙をふいていたりしていました。「よかったね。よかったね。」と、皆でうなずき合いながら市民会館を後にしました。



ふれあい

レクレーション

石井 康就



去る、3月11日私たち木工班は大津町の社会福祉協議会の主催で行われた、ふれあいレクレーションの集いに参加しました。この目的は、障害児者と地域住民の親ほくを深めることによって、障害者福祉の推進を図っていかうというもので、ボランティアの方々が増加者一人一人について、一緒に歌ったり踊ったりしました。10時に開催場所である、老人福祉センターに到着し、そこでボランティアの方に引き継いで、10時半に開会しました。始め、音楽に合わせてダンスをしました。ステージでインストラクターの小学生の女の子が踊ってくれたのですが、そんなことには見向きもせず、みんな汗ビツショリになりながら走り回っていました。ボランティアの方もそれを追いかけるので、精一杯という感じでした。その後、ノリのいいカントリーミュージックの演奏を

聴き、帰りにはたくさんのお菓子が入ったお土産をいただき、みんな大変喜んでいました。お世話になったスタッフの皆さん、おつかれさまでした。



冬、期実技十八公演

有働 和美

3月9日、愛護による冬期実技大会が行われた。あいにくの曇り空にもかかわらず熊本総合体育館では、そんな天候をもちもしい程の熱気で埋まった。

今回三気の里では、バトミントンに4チーム、ミニバレーに1チームが参加した。バトミントンは4チームの内3チームが決勝トーナメントに進出した。ミニバレーは1勝1敗で決勝トーナメントに残ることは出来なかったが、練習なしのぶっつけ本番としてはよい出来だった様に思う。次回の試合には練習して望みたい...とは思ったが、果たしてどうなるだろう？

ところで今大会の結果は、

(バトミントン)

1位・第二つつじ学園

2位・もみの木園

(ミニバレー)

1位・あゆの里

2位・城南学園

来年はどこの園が上位になるでしょうか？お楽しみに！

新入園生 初和介

猛くん

現在19才、芸能人の事なら誰でも知っている超物知りの猛です。よろしくね。



泰彰くん

始めまして、泰彰(24才)です。体力に自信があります。マメに頑張るぞ！皆さんよろしく！



4 月 の 行 事 予 定

日	月	火	水	木	金	土	備 考
色 武ちゃん、喬ちゃん、宏幸くん、りえちゃん、誕生日おめでとう 色 8日(土) 一斉練習 ● 9日(日) 大津町障害者駅伝 色 22日(土) 皆バス運行 日 29日(土) みどりの日 日 29日(土)~5/7(土)まで春分練習						1	
2	3	4	5 4日レク 武ちゃんの誕生日(22)	6 2日レク 浩ちゃんの誕生日(24)	7	8 一斉練習・保護会	
9 大津町障害者駅伝大会	10	11	12 宏幸くんの誕生日(27)	13 5日レク りえちゃん誕生日(27)	14	15	
16	17	18	19	20 3日レク	21	22 皆バス運行	
23/30	24	25 1日レク	26	27	28 たんぽぽ編集	29 春分練習 5/7まで	



ボランティアア通信

梅・木蓮・れんぎょ・水仙の花が美しく咲き、三気の里も春の日差しをいっぱい浴びながら4月から新しくスタートしました。現在、73名と仲間も増えて賑やかな毎日を送っています。5月には、現在建築中の地域交流ホームも完成予定です。5月28日(日)には、地域交流ホームのお披露目も兼ねて開園記念祭を行いますので、是非遊びに来て下さい。

4月からは、ボランティアの担当が満原・石丸・佐藤となります。今年度もどうぞよろしくお願います。 今村

お知らせ  
自閉症児者親の会の全国大会が今年の7月に熊本で開催される事が決定致しました。ボランティアの皆様のご協力・ご支援をお願い致します。

- ボランティアありがとう
- ☆V。学習会 森 隆子
- ☆片山孔兵 小野リカ
- ☆ブラッシング指導 森 隆子
- ☆生け花 西村栄子
- ☆散髪 坂本シマ子

(敬称略)

後援会云だより

平成六年度も皆様のご支援をたくさんいただきました。この紙面を借りまして御礼申し上げます。新年度も皆様どうぞよろしくお願致します。

一人云のりがとう  
安武美紀 相良久仁子

平成六年三月三十一日付け

※ 敬称略

編集後記

熊日新聞記者には負けないぞ！と始めた編集も、24回で卒業です。発送リストの担当もしましたが、皆様に何かとご迷惑をおかけしました。お世話になりました。松下待ちに待ったたんぽぽ編集員卒業。のはずだが、いざとなると寂しさを覚える。新芽よ、色鮮やかに芽吹け！ 石丸

2年間のたんぽぽ編集員を本日をもって無事、卒業することが出来ました。後は、後輩に託します。頑張ってください。 満原

